



おおたけっ子 らんらんカレッジ 子どもサイエンス教室

問い合わせ 生涯学習課 ☎5800

小学生を対象にした、地元企業によるサイエンス教室が、8月2日(火)～3日(水)の2日間にわたって開催されました。



エスカ花火をつくろう 三菱レイヨン(株)

1日目の午前は、三菱レイヨン(株)による、光ファイバーを使った実験教室が開催されました。30人の小学生や保護者が参加し、光を遠くに伝えることができる光ファイバーをたくさん使って、キラキラ光を放つ「エスカ花火」を作りました。光ファイバーを束にして懐中電灯に差し込む作業が難しく、子どもたちは何度もやり方を聞いたり、付き添いの保護者も一緒にになって作業したりして、きれいな花火を完成させました。

※ エスカ
三菱レイヨン(株)の光ファイバーの商品名。



(上)アルミホイルを巻いていく。

化学だいすき実験 ダイセル化学工業(株)

2日目の午前は、ダイセル化学工業(株)による、プラスチックの膜を使った実験教室が開催されました。20組の小学生と保護者が参加し、プラスチックの膜を作ったり、液晶テレビに使われている偏光膜の不思議を体験したりしました。

実験には薬品を使うため、全員保護メガネと手袋を着用しての大変な作業でしたが、最後はきれいなプラスチックの膜が完成し、みんな満足そうな様子でした。



(上)保護メガネと手袋を付ける。



(上)光はどんなふうになるかな。
(左)プラスチックの膜ができました。

(上)うまく混ざるかな。
(左)膜をムラなく伸ばしていく。

紙すきをしよう 三井化学(株)

1日目の午後は、三井化学(株)による、牛乳パックを使った紙すきの教室が開催されました。

紙すきは大竹市の伝統的な産業と説明を受けた後、参加した小学生60人は、しおりづくりにはチャレンジしました。紙をすいた後、ふきんにのせて水を切り、アイロンで乾かしてから、飾りをつけて、しおりの完成です。身近な素材を使って作れたことに、子どもたちはみんなとてもうれしそうでした。



(上)紙すきのお手本を見せてもらう。

磁石のふしぎ 戸田工業(株)

2日目の午後は、戸田工業(株)による、磁石を使った実験教室が開催されました。25人の小学生と保護者が参加し、磁石と紙コップを使ってモーターを作りました。紙コップに電極を付けたら、コイルの片側だけを磨いたりすると、細かい作業が多く、なかなかうまくコイルが回らなかつたりしましたが、最後にはみんな勢いよくコイルが回りだし、子どもたちはとても興奮した表情を見せていました。



(上)まずは磁石の仕組みを知ろう。



(左)コイルが勢いよく回りだした。
(下)コイルの調整は難しい。



(右)紙コップに電極を付ける。



(上)アイロンで乾かしてもらう。
(左)かわいいしおりの完成。



(右)なかなか均等にならない。
(左)すいた後に水を切る。